

風の子保育園 新園舎建築の 特徴と思い

3つの園庭で、 子どものしなやかに動く体を育てたい。

這う、立つ、伝い歩きながら、風、光、音を感じられる乳児園庭。歩く、走る、跳ぶ動きが活発な頃、繰り返しじっくり遊ぶあそびま。砂、土、水、草花、虫など、自然との関わりの中で、友達と共に感じ、様々な遊びに挑戦していくグランド。遊びを通して、しなやかに動く体を育て、子どもが様々な遊びを作り出すことを大切にしたい。

玄関ロビーは、子どもを中心 人がつながり、伝えあいを育てたい。

朝一人ひとりの子どもを受け入れ、夕方あしたを楽しみに帰っていく。玄関ロビーは、園の様子が一目で見渡せ、子どもを中心に保護者と職員がつながり、伝え合う空間。かたすみにちょっと腰を下ろして、保護者、職員、地域がつながり、人が集えるような、ホッとする雰囲気を大切にしたい。

風の子保育園新園舎概要

所在地：静岡市清水区押切 1261-1

設計監理：企業組合 針谷建築事務所

施工：イハラ建成工業株式会社

着工：平成 23 年 7 月

竣工：平成 24 年 3 月

構造規模：木造平屋建て一部 2 階建て

敷地面積：1,487.30 m²

建築面積：699.79 m²

延床面積：655.00 m²

本体工事費：183,405,149 円

工事事務費：16,590,000 円

解体撤去費：5,594,851 円

仮設施設整備工事費：8,820,000 円

安心こども基金補助額：189,059,000 円（交付決定額）



2012年3月8日 竣工

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会

風の子保育園

未来を担う子どもを育していくために、
『子どもにとって、大切なこととは何か』と
常に心に留めておきたい・・・。

木造平屋建ての園舎で、 子どもが自ら遊びに向かう意欲を育てたい。

木造平屋建ての園舎は、南向きで日当りが良く、田んぼからのさわやかな風を感じ、木のぬくもりの中で、子どもが自然を感じながら、心地よく過ごせる空間。

園の中心のあそびまは、お互いのクラスの様子が見え、歳児を超えた子どもと子どもの関わりの中で、遊びに向かう意欲を大切にしたい。

給食室を園舎の真ん中におき、 食を通して子どもの心を育てたい。

食べる場と遊びと眠る場を分けて、落ち着いた雰囲気の中で友達と共にしながら、楽しく食事をいただける空間。

給食室を園舎の真ん中におき、保育士と栄養士が伝え合い、子どもの食への興味や関心を深め、食体験を通して、見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触る五つの感覚を大切にしたい。

<3~5歳児保育室>

◎3~5歳は、異年齢活動の中で、製作あそび・構成あそび・ごっこあそびコーナーで好きな友達と好きなあそびを楽しめる空間に。

◎畑から一番近い部屋で、野菜の成長を身近に感じる喜びと食べる楽しみを！
◎可動式の戸を開けることで広いホールへ。誕生会などみんなが集まる場に。

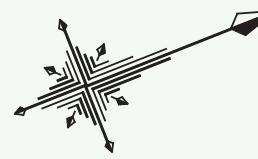
2階平面図

<2歳児保育室>

◎自我が大きく育つこの時期に、あそびを通して“自分で”という思いを支えて。
◎2歳は、あそびまとグランドに近い部屋で、小さい子と関わったり、大きい子の刺激をうけたり、歳児を超えた関わりを日常的に。

<あそびま>

◎あそびまでは、自分でごっこあそびの世界を楽しめるような空間に。
◎あそびまのかたすみにすわり“ホッと”ひと息できる場に！



<給食室>

◎食事は子どもの心と体をつくり、食べることで人と人とがつながっていきたい。
◎離乳期の一人ひとりをていねいにとらえ栄養士と保育士との伝え合いを！

<0~1歳児保育室>

◎暖かい朝日のあたる0~1歳児の部屋で、ゆったりと穏やかな時間を過ごし、一人ひとりの発達差をていねいに関わっていきたい。

<乳児園庭>

◎乳児園庭は、子どもが自分で這い這いしていき、風と光と音を感じられる空間に！



<玄関ロビー>

◎玄関ロビーは保護者の集える場。保育園全体の様子が分かり、ちょっとした会話や穏やかな笑い声が響くような開放的な空間に！
◎毎日の朝と夕方の様子からホッとできる親子関係をさりげなく支えたい。
◎靴を脱がずに玄関ロビーを通ると、そこには子どものあそびの空間が広がり各部屋へ！

配置図兼 1階平面図
風の子保育園新園舎

<グランド>

◎グランドでは、自分で砂あそび・お団子作り・虫探し・草花あそび・木登り・竹馬・縄跳びなど、自然物でのあそびを充分楽しめるような空間に！
◎小さい子どもが這い這いしている姿から、大きい子どもがおもいっきり走る姿まで、毎日のあそびを通して0歳~6歳のしなやかな動く体を育て、その姿を保護者と共に確かめ合う全員参加の運動会に！